

教科	科目	単位数	学年	集団
商業	財務会計Ⅰ／原価計算	5	2	ビジネス探究科

使用教科書	副教材等
新財務会計Ⅰ（実教出版） 原価計算（実教出版）	最新段階式簿記検定問題集 全商1級会計（実教出版） 全商簿記実務検定模擬試験問題集 1級会計（実教出版） 最新段階式簿記検定問題集 全商1級原価計算（実教出版） 全商簿記実務検定模擬試験問題集 1級原価計算（実教出版）

科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 財務会計、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

(2) 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。

(3) 会計責任を果たす力、適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	財務会計、原価計算について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。
②思考・判断・表現	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を身に付けることができる。
③主体的に学習に取り組む態度	会計責任を果たす力、適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。

評価方法

- ①知識・技能…定期試験、小テスト
 ②思考・判断・表現…定期試験、論述試験、提出物の点検
 ③主体的に学習に取り組む態度…授業への取り組み状況

学習計画

月	項目	単元	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	<原価計算> 第1編 原価計算の基礎	原価と原価計算 原価計算のあらまし 工業簿記－製造業における簿記－	<ul style="list-style-type: none"> 工業簿記と原価計算の関係、原価の意味（製造原価・総原価）を理解させる。 原価要素の分類、集計のしかたと原価計算表の役割を理解させる。 原価計算の四つの目的、手続き、期間と種類を理解させる。 工業簿記の特有な勘定科目と一連の記帳手続を学習させることにより、全体的な構造を理解させる。 	○		○
	第2編 原価の費目別計算	材料費の計算 労務費の計算 経費の計算	<ul style="list-style-type: none"> 材料費の分類、仕入れと記帳方法、元帳への転記を理解させる。 材料の保管、棚卸減耗の意味とその処理方法を理解させる。 材料の消費と記帳方法、原価元帳の記入方法について理解させる。 材料の消費単価と消費数量の計算方法について理解させる。 予定価格により、消費高を計算することの意味、予定価格を用いた二通りの記帳法を理解させる。 労務費の分類、賃金支払高の計算と記帳方法を理解させる。 賃金消費高の計算と記帳方法を理解させる。 予定賃率による消費賃金の計算と記帳方法を理解させる。 賃金以外の労務費の種類、その計算と記帳方法を理解させる。 経費の意味とその分類を理解させる。 経費の消費高の計算と記帳方法を理解させる。 	○	○	○
	第3編 原価の部門別計算と製品別計算	個別原価計算	<ul style="list-style-type: none"> 個別原価計算のしくみと原価計算表の記入方法を理解させる。 原価元帳と製造勘定の関係を理解させる。 製造間接費の配賦についての概要を理解させる。 仕損品・作業くずの処理を理解させる。 実際配賦率による配賦の欠点を説明し、予定配賦率による配賦を理解させる。 	○	○	○

5	第3編 原価の部門別計算と製品別 計算(続)	部門別個別原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ・原価部門の設定について部門別計算の目的から考えさせ、各部門の役割を理解させる。 ・部門費配分表、部門費振替票、製造部門費予定費配賦表を作成させ、それぞれにもとづく仕訳を、マスターさせる。 ・部門別個別原価計算の必要性を理解させる。 ・部門別個別原価計算の全体的な流れを再確認させる。 ・生産形態の違いから、原価計算の方法も異なることを理解させる。 ・個別原価計算と総合原価計算の違いを明らかにする。 ・総合原価計算の種類を理解させる。 ・単純総合原価計算が用いられる製造業の特徴と手続きの流れを理解させる。 ・月末仕掛品完成品換算数量・加工費・加工進捗度などの用語の意味、平均法と先入先出法による月末仕掛品原価の計算を理解させる。 ・単純総合原価計算表の作成と記帳法に習熟させる。 	○	○	○
		総合原価計算		○	○	○
		中間試験<原価計算>			○	○
		論述試験<原価計算>			○	○
6		総合原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ・等級別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と等級別総合原価計算のしくみを理解させ、等級別総合原価計算表の作成に習熟させる。 ・組別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と組別総合原価計算のしくみを理解させ、組別総合原価計算表の作成に習熟させる。 ・工程別総合原価計算の意味と目的、手続きについて理解させる。 ・工程別総合原価計算表の作成を通して、しくみを理解させる。 ・工程別総合原価計算の手続きと記帳方法を理解させる。 ・半製品の意味と半製品がある場合の記帳方法について理解させる。 ・副産物の意味と、それが発生した場合の記帳方法について理解させる。 ・副産物・作業くず・仕損品の意味と、それぞれが発生した場合の記帳方法について理解させる。 	○	○	○
		工程別総合原価計算		○	○	○
		総合原価計算における 減損・仕損じなどの処理		○	○	○
	第4編 製品の完成・販売と決算	製品の完成と販売	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法を理解させる。 ・販売費及び一般管理費の記帳方法を理解させる。 ・工場会計の独立と、その記帳方法について理解させる。 	○	○	○
		決算と本社・工場間の取引	<ul style="list-style-type: none"> ・月次決算の意味と年次決算との関連について理解させる。 ・財務諸表の特色を理解させ、製造原価報告書の作成に習熟させる。 			○
	第5編 標準原価計算の基礎	標準原価計算(その1)	<ul style="list-style-type: none"> ・標準原価計算が原価管理に役立つ理由を知らせる。 ・標準原価計算の意義と特色、全体的な流れを理解させる。 ・完成品と仕掛品の標準原価による計算方法を理解させる。 			
	標準原価計算(その2)	<ul style="list-style-type: none"> ・原価差異の計算とその分析方法を理解させる。 ・標準原価計算の記帳方法を理解させる。 ・標準原価計算による損益計算書の作成方法を理解させる。 				
	第6編 直接原価計算の基礎	直接原価計算(その1)	<ul style="list-style-type: none"> ・直接原価計算が利益計画に適している理由を知らせる。 ・直接原価計算表の意義と特色を理解させる。 ・直接原価計算による損益計算書の組み立て方を理解させる。 			
		直接原価計算(その2)	<ul style="list-style-type: none"> ・CVP分析や損益分岐図表により、売上高・原価・利益の関係と高低点法を用いた原価予測の方法を理解させる。 			
	検定試験対策答練			○	○	○
	全商簿記実務検定 1級原価計算					
	原価計算の振り返り	問題演習		○	○	○
7		論述試験<原価計算>			○	○
		期末試験<原価計算>			○	○
	<財務会計I>	貸借対照表のあらまし	<ul style="list-style-type: none"> ・貸借対照表の意味と役割を理解させる。 ・貸借対照表の様式には、勘定式と報告式があることを理解させる。 ・貨幣性資産と費用性資産の概略、営業循環基準と1年基準の意味および、それらの基準の適用資産について理解させる。 ・資産の評価の意味と損益計算との関係について理解させる。 ・資産の評価基準の種類、内容、特徴等について理解させる。 ・当座資産の意味および種類を理解させる。 ・現金預金の期末における取り扱いおよび銀行勘定調整法の作成について習得させる。 ・受取手形・電子記録債権・売掛金・クレジット売掛金・有価証券の期末評価について理解させる。 	○	○	○
	第2編 貸借対照表	資産の意味・分類・評価		○	○	○
		流動資産PART1 当座資産		○	○	○
		流動資産PART2 棚卸資産・ その他の流動資産	<ul style="list-style-type: none"> ・棚卸資産の意味と種類を理解させる。 ・棚卸資産の取得原価と費用配分の原則について理解させる。 ・棚卸資産の払出価額と期末棚卸高の計算方法に習熟させる。 ・売価還元法の計算方法を理解させる。 ・その他の流動資産の各項目の会計処理を習得させる。 	○	○	○
	固定資産PART1 有形固定資産	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産の意味と種類、有形固定資産の期末評価における減価償却の役割およびその計算方法等について理解させる。 ・有形固定資産の取得原価の計算方法、資本的支出・収益的支出の意味を明らかにし、それぞれの処理方法を習得させる。 ・固定資産の除却と買い替えの記帳について習熟させる。 ・リース取引の意味と種類を理解させる。 ・ファイナンス・リース取引における利子込み法と利子抜き法の違いについて理解させる。 ・ファイナンス・リース取引におけるリース資産の取得、リース料の支払い、減価償却の記帳について習熟させる。 	○	○	○	

夏課題試験			○	○	○			
9	第2編 貸借対照表(続)	固定資産PART 2 無形固定資産 固定資産PART 3 投資その他の資産 負債の意味と分類 流動負債 固定負債 純資産の意味と分類 資本金 資本剰余金 利益剰余金 自己株式 新株予約権 貸借対照表の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・無形固定資産の意味と種類、期末評価についてを理解させる。 ・無形固定資産の取得原価の計算方法を習得させる。 ・投資その他の資産の意味と種類を理解させる。 ・投資その他の資産の期末評価について理解させる。 ・負債の意味について、基礎的知識を習得させる。 ・負債の分類について、基礎的知識を習得させる。 ・流動負債の各項目の内容を正確に習得させる。 ・未払金と未払費用、前受金と前受収益の差異を明らかにする。 ・引当金の意味と評価性引当金・負債性引当金の区別を明らかにし、流動負債に属する引当金を理解させる。 ・長期借入金とリース債務について、1年以内に返済・支払いが行われる部分についての処理方法を習得させる。 ・退職給付引当金の処理方法を習得させる ・偶発債務の意味を明らかにし、他人の債務を保証した時の偶発債務について理解させる。 ・純資産の意味と分類を明らかにする。 ・株式会社の株主資本の分類および内容を理解させる。 ・株式会社の資本金の意味と計算を習得させる。 ・資本金の増加・減少の内容およびそれぞれの処理方法を習得させる。 ・資本剰余金の意味を明らかにする。 ・資本準備金、その他資本剰余金に関する処理を理解させる。 ・会社の合併の意味とその処理を理解させる。 ・利益剰余金の意味を明らかにする。 ・利益準備金の計上基準について確認する。 ・任意積立金と繰越利益剰余金の内容とその処理方法を習得させる。 ・剰余金の配当の意味とその処理方法を習得させる。 ・自己株式の意味を理解させる。 ・自己株式の取得・処分・消却の会計処理を習得させる。 ・新株予約権の意味を理解させる。 ・新株予約権の発行・行使の会計処理を習得させる。 ・貸借対照表作成上の諸原則を明らかにし、作成方法を習得させる。 ・貸借対照表に関する注記にはどのようなものがあるか理解させる。 	○	○	○		
	10	第3編 損益計算書	損益計算書のあらまし 損益計算の意味と基準 売上高 売上原価、販売費及び一般管理費 営業外費用・営業外収益 特別利益・特別損失 損益計算書の作成 その他の財務諸表	<ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書の意味と役割、区分を理解させる。 ・損益計算書の様式には、勘定式と報告式があることを理解させる。 ・損益計算の意味とその二つの計算方法（財産法と損益法）について十分理解させる。 ・収益・費用の計上時期を定める三つの認識基準（現金主義・発生主義・実現主義）、また測定基準について理解させる。 ・費用収益対応の原則の役割について理解させる。 ・売上高の意味と基準、それらに基づいた会計処理を理解させる。 ・工事収益の計上基準と、それぞれの処理方法を理解させる。 ・売上原価の意味と計算方法を理解させる。 ・販売費及び一般管理費の意味を理解させる。 ・売上総利益、営業利益の意味と計算方法を理解させる。 ・経常的な損益のうち、主として財務活動から生じる営業外収益・営業外費用の内容を明らかにし、経常損益の概念を理解させる。 ・特別利益・特別損失の意味と内容を明らかにし、それらの会計処理を理解させる。 ・当期純利益の概念を理解させる。 ・損益計算書の注記にはどのようなものがあるか理解させる。 ・損益計算書に関する注記にはどのようなものがあるか理解させる。 ・会社計算規則による報告式の損益計算書作成能力を養う ・株主資本等変動計算書の意味とその作成方法を理解させる。 ・注記表と附属明細書の意味と内容を理解させる。 	○	○	○	
		中間試験<財務会計Ⅰ>			○	○	○	
		論述試験<財務会計Ⅰ>				○	○	
		11	第4編 その他の会計処理	役務収益・役務原価 外貨建取引 税効果会計	<ul style="list-style-type: none"> ・役務収益・役務原価の意味を理解させる。 ・商品の販売とサービスの提供の違いについて理解させる。 ・役務収益・役務原価に関する会計処理を習得させる。 ・外貨建取引の意味を理解させる。 ・円換算の意味を理解し、適切な会計処理を習得させる。 ・為替予約の会計処理を習得させる。 ・税効果会計の意味と役割を理解させる。 ・税効果会計を適用した場合の財務諸表の表示について習熟させる。 ・貸倒引当金に関する税効果会計の会計処理を習得させる。 ・減価償却に関する税効果会計の会計処理を習得させる。 ・その他有価証券に関する税効果会計の会計処理を習得させる。 	○	○	○
			第5編 財務諸表の活用	財務諸表のディスクロージャー 財務諸表分析 連結財務諸表のあらまし	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と利害関係者およびディスクロージャーについて理解させる。 ・財務諸表の目的と意味、内容を明らかにする。 ・関係比率法・構成比率法・趨勢法・実数法による分析の種類を明らかにし、それぞれの計算方法について理解させる。 ・連結財務諸表の意味や目的を明らかにし、連結財務諸表の概略を理解させる。 ・親会社と子会社の意味、連結財務諸表の重要性を理解させる。 	○	○	○
				財務会計の振り返り		問題演習	○	○
		期末試験<財務会計Ⅰ>			○	○	○	

12	第1編 財務会計の基礎	企業と会計	<ul style="list-style-type: none"> ・企業会計の意味と役割、財務会計の機能について理解させる。 ・株式会社の基礎的な会計処理、会計公準について理解させる。 ・簿記・会計の発達の歴史を明らかにし、会計の歴史について理解させる。 	○		
		企業会計制度と会計法規	<ul style="list-style-type: none"> ・企業会計制度の意味を明らかにし、会計法規の必要性と中心的な会計法規について理解させる。 ・企業会計原則の意味を明らかにし、一般原則及び重要性の原則について理解させる。 ・財務諸表の種類を明らかにする。 	○		
1	<財務会計 I > 検定試験対策答練		問題演習	○	○	○
	全商簿記実務検定 1級会計					
	<財務会計 I /原価計算> 発展学習	原価予測の方法 損益分岐点比率と安全余裕率 連結財務諸表の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・原価予測の意味を理解させる。 ・原価予測の会計処理を習得させる。 ・損益分岐点比率と安全余裕率の意味を理解させる。 ・損益分岐点比率と安全余裕率の会計処理を習得させる。 ・連結財務諸表の作成手続きを理解させる。 ・開始仕訳の必要性と意味について理解させる。 ・当期分の連結仕訳として、のれんの償却、非支配株主に帰属する当期純利益の計上、親会社と子会社相互間の債権・債務の相殺消去、親会社と子会社相互間の仕入と売上の相殺消去、未実現利益の消去、子会社の配当金の修正について理解させる。 ・連結精算表の作成を習得させる。 	○	○	○
	日商簿記検定 2・3級					
	原価計算の振り返り		問題演習	○	○	○
3	学年末試験<原価計算>			○	○	○
	1年間の振り返り					○